

米騒動と尼崎の部落 (公社)尼崎人権啓発協会 事務局長 三澤 雅俊

第一次世界大戦中(1914~18年)日本は一時的に好況でしたが、戦局の長期化に伴い物価高となり、国民生活は苦しくなっていました。特に米価の高騰はすさまじく、1918(大正7)年になると、日ごとに上がるというありさまでした。ついに、富山県の漁師の女性達が、米価値上がりと米商の買い占めなどに抗議し、立ち上がりました。この動きは全国に波及し、7月末から9月にかけての2ヵ月間、1道3府38県・37市・134町・139村に及びました。これが米騒動です。

この中心的な役割を果たしたのは未組織の都市貧民で、自然発生的に群集し、不安・不満を爆発させたものでした。この騒動で、8,000人余が検事局送りとなり、その内の約11%にあたる887人が部落の人々でした。確かに部落の人も参加しましたが、この検挙数の多さは、当時の新聞の偏向と官憲の差別的検束によるところが大きいと言われています。

さて、尼崎においても米騒動の影響を受け、8月13日夜に旧尼崎市と小田村で一斉に民衆が蜂起しました(『尼崎市史』第三巻)。尼崎の部落の人々がこの騒動に参加したかどうかは、聞き取りをする中でもあまり出てきません。ただ、小田村に属していた部落だけは参加した事実があります。小田村では、常光寺・長洲・神崎・次屋などで蜂起があり、米商への襲撃がありました。聞き取りによると「よそもんみたいな人が村に入ってきて、米を安く分けたるから米屋に来てんか言うんで、その頃本村には米屋が3軒あってな、そこへ村のもんがこぞって押しかけたもんや。米を一人5合ずつ買って帰ったんや。家に米があらへんかったんで、うれしかったんや。」といひます。

こうしてこの部落は米騒動に巻き込まれましたが、全国的な検挙者数でもわかるように、被差別部落の人が多く、あたかも部落の人達が騒動の中心的存在であるかのようにみなし、民衆の差別観念をあおり立て、民衆の分裂をはかり、騒動の激化をさめようとしたのです。しかし、尼崎の部落の人については、検挙されなかったようです。「確かに軍隊や警察が来たわいな。けんども、村のもんで捕縛されたもんおらんかったんや。」と言っていることから、騒動の中心的存在となった人はいなかったようです。尼崎の部落の多くが農村で、小作をしていたので、直接米騒動の影響は少なかったとの聞き取りもあります。(『尼崎部落解放史』本編より抜粋)

人権・ひとこと

人権を守る実践的社會教育を

公民館は、先の戦争が終結した昭和20(1945)年の9月に旧文部省社会教育課長 寺中作雄氏が、長い戦災で荒廃した日本社会の再建に向けて、民主的な地域社会の担い手となる市民の学びの場としての公民館の建設構想を示し、全国で建設が始められたものです。

時を経て尼崎では、自治のまちづくりに向けて地域振興体制の再構築の取組がすすみ、社会教育法に基づく公民館は廃止され、生涯学習プラザと名前を変えることになりました。(地区会館も生涯学習プラザという名称になります。)このことは、社会教育法という縛りをなくし、より実践的な社会教育的活動を行うことを可能とするとともに、教育委員会事務局にとどまらず、地域振興センターなど市長部局にまで、その社会教育的実践活動を広げようとする意欲的な取組であると考えています。

新しい施設では、例えば、盲導犬について学び、募金を集める。被災地の障害者作業所の制作物を販売し収益を送るなど、実践的な学習活動をすすめていくことが可能になると考えています。

公民館という名前がなくなるのは寂しく思いますが、生涯学習プラザは、これまで以上に実践的な社会教育的施設として、人権を尊重し差別や偏見のない地域社会を目指す施設であるものと信じています。

あっ、日本酒の利き酒会やワインの試飲会もできるかも!

尼崎市人権・同和教育研究協議会 個人会員 /

尼崎大学・学びと育ち研究担当(元園田公民館職員) 栗田 一夫

編集後記

寺岡陽子さんが新会長に就任し、役員・専門部長共々、心新たに活動を始めました。

人が亡くなるほどの暑さや次々と襲ってくる自然災害、主要な省での不正など、社会の情勢は不安と憤りの度合いを増しています。こんな時だからこそ尼同教の果たす役割は重要だと考えます。差別や偏見を見抜く目、支えあい分かち合う心を育む一助になればと、一同心を合わせて編集しました。

山本 育子 / 和田 季子 / 坂本 和也

会員募集中

尼同教では、団体会員・個人会員ともに随時募集しています。お気軽に事務局までご連絡ください

第105号

尼同教だより

発行：尼崎市人権・同和教育研究協議会

〒661-0024 尼崎市三反田町1-1-1 教育委員会事務局 社会教育課内

TEL：06-4950-0405 / FAX：06-4950-5658 / E-mail：ama-syakaikyoku@city.amagasaki.hyogo.jp

・「世界人権宣言」が国連で採択されて70周年となる年です。そして尼同教は結成60年を迎えました・

平成30年5月22日(火)

定期総会

が開催されました。

学校教育機関や関係団体との連携を図りながら、人権啓発活動を推進していきます。今年度も様々な事業を開催いたしますので、積極的な参加をお願いいたします。総会で承認された平成30年度の役員です。所属と「好きな」をご紹介します。

会長 寺岡 陽子

個人会員

- ・「明けない夜はないのだから、希望を持とう！」
- ・子ども時代に帰れる故郷の海
- ・世界遺産を訪ねて、現地の人と交流すること



副会長 長澤 健祐

部落解放同盟 塚口支部

- ・坂村真民さんの詩
- 「あとからくる者のために」(一部抜粋)
- あとからあとから続く
- あの可愛い者たちのために
- 未来を受け継ぐ者たちのために
- みな夫々 自分で出来る何かをしてゆくの



副会長 三澤 雅俊

個人会員

- ・ロックバンドでベースを担当(現在は休止中)
- ・読書(特に歴史小説)



副会長 上田 美保

尼崎市 PTA 連合会

- ・関ジャニ(渋谷すばるくん)
- ・「自分らしく」
- ・栗本 熏
- ・満天の星



副会長 山本 育子

尼崎ユネスコ協会

- ・座右の銘「信じて待つ」
- ・「ありがとう」
- ・桃 季節感いっぱい
- ・山の中



副会長 能登 誠二

個人会員

- ・くるり - Remember me
- ・「誠実」
- ・地元地域まちづくり活動の仲間
- ・仕事



会計 前田 昌昭

尼崎市社会福祉協議会 園田支部

- ・「一期一会」
- ・音楽は全て聴きます
- ・お酒
- ・お魚(特に刺身)



CONTENTS

- ・障害者差別解消法 障害のある人への差別をなくそう
- ・スペシャルオリンピックス(SO)を知っていますか
- ・生活介護事業所 ふるーるさんにおじゃましました
- ・「米騒動と尼崎の部落」三澤 雅俊さん / 「人権・ひとこと」栗田 一夫さん